

### 開倫塾夏期講習会の受講の仕方を考える

—この夏休みに「主体的に学ぶ力」、「学力」を身につけ、成績を大幅に向上させるために—

開倫塾  
塾長 林 明夫

#### 1. 開倫塾へようこそ

(1)7月中旬～8月下旬まで約40日間の開倫塾の夏期講習会にようこそ御参加くださいました。心から歓迎いたします。(Welcome To Kairin Juku School)

(2)開倫塾では、開倫塾で学ぶすべての皆様を「開倫塾という塾で学ぶ生徒」という意味で「塾生」と呼びしています。今日から皆様は全員が「開倫塾の塾生」であります。



#### 2. 開倫塾の塾生として、自覚と誇りをもって学ぼう

(1)開倫塾は、できたばかりの学習塾ではありません。今から35年前の1979年に、日本最古の学校である「足利学校」のある街、栃木県足利市で生まれた36年の伝統ある学習塾です。現在は栃木県、群馬県、茨城県の3つの県に60校舎があり、この夏休みには約7000名もの塾生の皆様が開倫塾で学んでいます。どうか、この夏、7月中旬～8月下旬までのおよそ40日間、開倫塾の夏期講習会で学ぶ皆様は、36年の伝統ある開倫塾の塾生としての誇りと、自覚をもってしっかりと学んで頂きたいと希望いたします。

(2)学習塾の起源は、江戸時代の寺子屋です。寺子屋では「礼なくして学ぶに及ばず」との考えのもと、礼儀を知らないで寺子屋で教えてもらうことはできませんでした。開倫塾は、この「礼に始まり、礼に終わる」の寺子屋の伝統を受け継ぎたいと考えます。礼儀は、相手を思いやる「仁」の心、名誉、誇りを育(はぐく)みます。

#### 3. 受験生としての自覚を一日も早くもとう

(1)学校成績を向上させ、また、希望校への合格を果たすために一番大切なことは、「自分は受験生である」という「自覚」をもって学ぶことです。来年の春、希望校への合格を果たすことを目指す受験生の皆様は、「自分は受験生である」という「自覚」を一日も早くもって、この夏休みの毎日を大切に大切に過ごしてください。

(2)受験勉強で絶対必要なのは、「学習時間の長さ」と「学習の仕方」を工夫することです。「受験生としての自覚」をもてば、長時間の学習も全く苦になりません。学習すればするほどもっと学ばなければ間に合わないと思うようになり、学習に熱が入ります。また、「受験生としての自覚」をもてば、「学習の仕方」、「学習の方法」も工夫するようになります。

(3)このように、受験生として最も大切なことは「受験生としての自覚」を一日も早くもつことです。

(4)受験学年以外の塾生の皆様も、何年か先には必ず受験がひかえています。数年後には受験をするという「自覚」を一日も早くもって、この夏、学習するようにお願い申し上げます。進学を希望する学校を1日も早く決めてください。目標がはっきりすればするほど「自覚」が深まり、やる気が出ます。あと何年かあれば、自分の希望する学校への合格は可能です。どんなに難しい学校への入学も可能です。「自覚」をもった上で、今のうちから「学習時間」を十分にとり、また、「学習の仕方」を十分に工夫してください。



#### 4. テキストはできるだけ予習を。夏期講習会のテキストは十分に予習しましょう

(1)予習として何をどのようにしたらよいか、是非、自分の力で真剣に考えてください。

(2)お盆特訓や8月分授業を含め、開倫塾の「夏期講習会」の各期のテキストを自分の力で1ページずつ、また、1章ずつ、そして、一行ずつじっくりと読み込み、そこに書いてあることはどのような内容かを「理解」することが予習として大切です。ことばの意味がよくわからなかったら、必ず「辞書」を用いて調べましょう。辞書で調べたことは、ノートやカードに書き写して繰り返し学習し、書き取り練習もして、すべて正確に覚えてしまうことが大切です。「自分が知っていることばの数」、難しい表現でいうと「語彙数(ごいすう)」を増やすことが、成績向上の秘訣です。

(3)予習で大切なことはもう一つあります。それは、テキストに出ている「計算」や「問題」を授業前に、予め「ノート」に必ず解いてみることです。「計算」は答えだけでなく、問題も必ずノートに書き写すこと。また、「計算」の途中の経過も必ずノートに書いておくことが大切です。  
\*一度やってみてわからない「計算」や「問題」は、わかるまで徹底的に調べることも大切な予習です。

(4)これが「予習」です。では、このような「予習」は何のために行うのでしょうか。「予習の目的」は「よくわからないことをはっきりさせてから授業に臨むため」に行うものです。

(5)しっかりと「予習」をして、「わからないところをはっきりさせてから授業に臨む」ことを是非、この夏、実行に移してください。開倫塾の先生方の授業が驚くほどよく「理解」でき、また、「成績」が向上します。この予習の仕方は、大学でも大学院でも大いに役立ちます。



#### 5. 夏期講習会の授業中の心構え

(1)「欠席」、「遅刻」、「早退」、「おしゃべり」、「居眠り」などは「理解」の妨げになるので、できるだけしないように心掛けましょう。ケータイやゲーム、スマホ、iPadなどは論外です。

\*トイレは、授業前に家庭や塾でできるだけ済ませましょう。ただし、授業中にトイレに行きたくなったら、遠慮しないで先生に申し出てトイレに行ってください。ガマンは禁物(きんもつ)、ガマンは絶対にしないでください。体調が悪くなった時も、遠慮しないで先生に申し出てください。

(2)授業中は、手を机の上に置き、先生目や口元、黒板を見て「理解」に励みましょう。必要なことは、どんどん「一語残らずノート」に取りましょう。

\*大切なことが「ノート」に取れるのは、「大切な能力」の一つです。「理解」できても、ノー

トを取らないと「理解」できたことを忘れてしまいます。大切なことは必ずノートを取ってください。

## 6. 授業直後に必ずなすべきこと

(1)授業中の「ノート」は、後で読み直し、理解がしやすいように、授業直後に「整理」しましょう。必要なことはノートに書き加え、自分のノート、my notebook を作りましょう。

(2)その日に授業で学んだ「テキスト」、「ノート」をもう一度学び直しましょう。

\*「復習」としては、スミからスミまでスラスラと、テキストやノートがよく読めるようになるまで「声を出して読むこと」、つまり「音読練習」をすることが大切です。また、大切な語句は「楷書(教科書の書体)」で正確に書けるようになるまで「書き取り練習」をすることが大切です。

(3)その日に授業で学んだ「計算」や「問題」は、すべてもう一度ノートにやり直しましょう。

\*どうしても、なぜそのような答えになるのかがよくわからなければ、開倫塾の先生に、その日か、次の日に必ず質問しましょう。わからないまま放っておかないことが大切です。できれば、計算や問題を見た瞬間に条件反射で正解が出るまで「計算・問題練習」を繰り返すこと。これが大切です。

(4)授業中に先生がやらなかった計算・問題にもできるだけ挑戦して、ノートにやってください。問題が解けたら、解答・解説集を見て答え合わせをしましょう。

\*なぜそのような答えになるのかがどうしてもよくわからない計算・問題があったら、その日か、翌日に開倫塾の先生に質問しましょう。わからないままにしないことが大切です。

(5)最後に、その日に学んだ内容のすべてについて、もう何度か「音読練習」と「書き取り練習」を必ず行い、「スミからスミまで正確に身に着ける」ことを心掛けましょう。この「スミからスミまで」が高得点や高い偏差値を取るために大切です。

## 7. 開倫塾で「長時間自己学習」を!!

(1)以上のように学習すれば、偏差値は必ず急上昇します。ただし、時間が相当かかります。そこで、開倫塾では、開倫塾の先生方の勤務時間中であれば、塾生の皆様が保護者の承諾を得て申請をし、開倫塾の校長先生が許可した場合には、「長時間自己学習」を奨励しています。

\*ただし、夜の 10 時 30 分以降は先生方の勤務時間外ですので、必ず帰宅し、自宅で学習してください。夜 10 時 30 分以降、塾生の皆様が開倫塾に居残るのは絶対に禁止です。よろしく御理解ください。



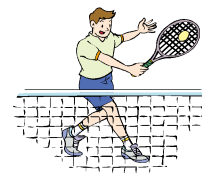
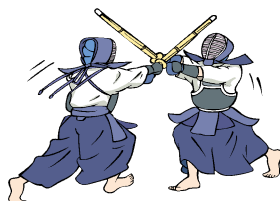
(2)授業中と同様に、「長時間自己学習」の時間中のおしゃべりやスマホ、ケータイ、メールは絶対禁止です。食事は決められた時間や休み時間にしてください。机の上には食べ物や飲み物を絶対におかないで、カバンの中にして置いてください。このようなルールをよく守り、40 日間余りで 150 時間を 1 つの目標に開倫塾の「長時間自己学習」にお励みください。

\*自分で出したゴミはすべて自宅にお持ち帰りくださいますようお願いいたします。自分で使った机やイスは元の位置に戻してください。自分たちが使用した教室のそうじにも協力してください。

- (3)「長時間自己学習」の目標は、9月からの本格的な学習に備えて「自ら進んで、主体的に学ぶ力」を身に着けることにあり、開倫塾では考えます。
- (4)開倫塾では、「学力」とは「自ら進んで、主体的に学ぶ力」であると考えます。
- (5)「学校の定期テスト」でよい点数が取れることや、「模擬試験」などで希望校に合格できるだけの偏差値が取れること、「3大検定」で希望する級に合格できることなどは、すべて、「自ら進んで、主体的に学ぶ力」という意味での「学力」が身に着いた結果です。
- (6)この「自ら進んで、主体的に学ぶ力」(学力)を身に着けるには、自分のおかれている立場をよく「自覚」した上で、「学習の3段階理論」などを参考にしながら学習の仕方を工夫し、「長時間自己学習」を積み重ねる以外にありません。
- (7)この「学力」は、2学期以降の学習に役立ちます。希望校に進学したときにも役立ちます。皆様が将来、大学や大学院に進学したときや、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役立ちます。一生にわたって役立つのが「自ら進んで、主体的に学ぶ力」という意味での「学力」です。テストの「成績はその結果」です。テストでよい「結果」を出したければ、「自ら進んで、主体的に学ぶ力」をまずは身に着けることです。
- (8)テスト本番でよい点数を取るには「読解力」が必要です。そこに何が書いてあるかが正確に読み取れなければ、正解を出すことができないからです。「読解力」を身に着けるために一番よいのは、新聞と読書です。開倫塾には、昨日の新聞と1冊の本を必ず持参し、「長時間自己学習」の時間に毎日1時間は新聞と本を読んで「読解力」を身に着けてください。

## 8. 最後に一言一大切なことは…

- (1)①「自己責任(自分の行動には自分で責任を取る)」、②「自助努力(自分の身は自分で助ける努力をする)」、③「自分の未来は自分で切り開く」という考え方です。
- (2)①「あきらめたらおしまい」、②「ピンチをチャンスに」という考え方が大事です。
- (3)部活動がほぼ終わった中3、高3の受験生の皆様は、8月23日(日)以降の業者模試に全力集中してください。
- ①受験勉強にとっての地区大会は8月23日(日)以降の模擬試験と考えることも大事です。
- ②「部活動の地区大会が8月23日(日)にある」と考えて、これからの1か月間、全力を傾けて受験勉強にお励みください。
- ③例えば、「8月23日(日)の地区大会」で希望校に合格できるだけの偏差値を勝ち取ることだけに集中すれば、必ず成果は出ます。
- ④私は、「一点突破、全面展開」という中国の革命家である「毛沢東」のことばが好きです。
- ⑤8月23日(日)を「一点突破」の日と考え、その日まで全力を傾け、開倫塾を活用して受験勉強に集中してくださいね。



以上